



資料のダウンロードはこちらから→

- テーマ 揺れ動く子どもの心…どう接すればいいの？
- 対象 小学生（高学年）～中学生の保護者
- 時間 45分
- ねらい 思春期特有の悩みや困りごとを共有し、思春期の子どもとの接し方について考える。
- 準備物 筆記用具、名札（参加者、スタッフ）、ワークシート、時計（ストップウォッチ）、ルールカード（3枚）、アンケート、A4用紙（人数分）



1 はじめに（2分）

セリフ
1

家庭教育や子育てでは、不安や悩みも多くなりがちですが、いろいろな人と話し合うことができれば、気持ちが楽になることもあると思います。今日の話合いがこれからのみなさんにとって、自身の考え方が広がるきっかけや仲間づくりにつながる時間になることを期待しています。今日は、「揺れ動く子どもの心…どう接すればいいの？」をテーマに、思春期の子どもとの接し方について、エピソードを参考に話し合ってみましょう。

2 自己紹介（アイスブレイク）（7分） ※他のアイスブレイクでも可(P78～P79)

セリフ
2

まずはじめに、中学生の頃、あなたが好きだった曲を2つ、紙に書いてください。時間は2分間です。書けた人は、その曲を選んだ理由を考えましょう。では、始めてください。

曲名を書く 2分

セリフ
3

それでは、所属と名前を言ったあと、好きだった曲1つとその理由を紹介してください。時間は、1人1分間をお願いします。パスもOKです。時間が余ったら、紹介しなかったもう1曲について、自由に質問しても構いません。ただし、4分間で終了となります。紹介は、今日家を出た時刻が最も早い人から時計回りでお願いします。

アイスブレイク 4分

3 プログラムのルールを説明する。（1分）

セリフ
4

それでは、このプログラムのルールについて確認しておきます。（3つのルールを提示）ルールは3つあります。1つ目は「尊重」です。お互いが発言の時間を守り、他者の発言は最後まで聞きましょう。2つ目は「共感」です。自分とは違った考え方や感じ方が新たな気付きにつながります。批判せず、お互いの感じ方や考え方を認め合いましょう。3つ目は「守秘」です。みなさんが安心して話し合いができるように、ここで知り得た秘密や情報は持ち帰らないようにしましょう。ルールを守って、よりよい学びと交流を深めましょう。



POINT 3つのルールは、参加者がいつでも確認できるように、会場内に掲示しておきましょう。（上記2次元コードからダウンロード可）

4 エピソードを読んで、思ったことや考えたことを伝え合う。(15分)

セリフ 5 まずはじめにエピソードを読んで、トモキさんは、なぜ、家と学校での様子があまりにも違うのか、考えたことをワークシートに記入してみましょう。思いつくだけ書いてください。時間は5分間です。

ワークシート記入 5分

セリフ 6 それでは、各グループでワークシートに記入したことを発表してください。発表は1人1分程度で、パスもOKです。質問なども自由に行って構いませんが、時間は8分間です。発表は、今朝起きた時間が最も早い人から時計回りをお願いします。

グループ活動 8分

セリフ 7 みなさん、お互いの発表を聞き合って、どのような感想をもちましたか？思春期は子どもとの接し方で悩んだり、困ったりすることは多いかもしれませんが、大人になろうとする成長の証とみれば、少し安心できるかもしれませんね。

POINT 資料「ちょこっと豆情報！」に関連した様々な情報を掲載しているので、紹介しておきましょう。

5 思春期の対応について、考えたことを話し合う。(17分)



セリフ 8 次に、思春期を迎えた子どもとよりよい関係を築くには、どのような接し方をすればよいでしょうか。また、ご自身で工夫されていることやよいアイデアがあれば、ワークシートに記入してください。時間は5分間です。

ワークシート記入 5分

セリフ 9 それでは、先ほどと同じように、各グループで発表してください。全員の発表が終わったら、思春期の対応について、自由に話し合ってみましょう。時間は8分間です。

グループ活動 8分

セリフ 10 みなさん、ご自身の考え方が広がるきっかけやヒントが見つかったでしょうか？ それでは、2グループほど、話し合った内容をみなさんに伝えていただきます。よろしくお願いします。(発表グループには事前に伝えておく)

全体交流 2分

6 学習のまとめを行う。(3分)

セリフ 11 いかがでしたか。思春期の子どもとの接し方について、よりよい関係を築くためのヒントは見つかりましたか？最後に今日の時間を振り返って、ワークシートに感想をまとめてみましょう。

ワークシート記入 2分

セリフ 12 以上で、終了です。アンケートにご協力いただける方は、提出してからお帰りください。ありがとうございました。